

第2章 下田市の食生活の現状と健康課題

【人口】

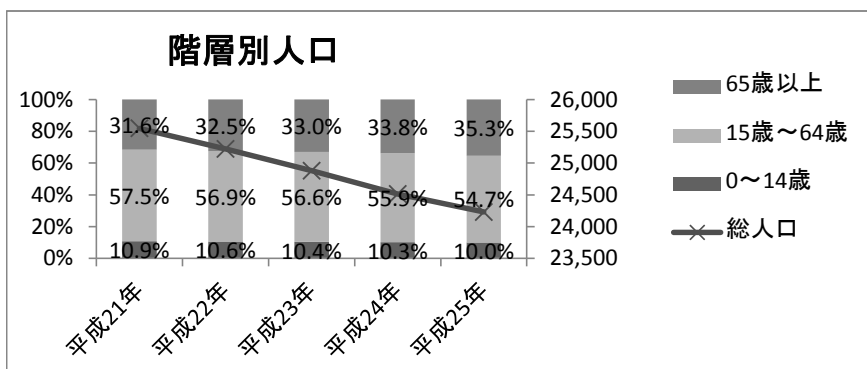
(1) 階層別人口

下田市の人口は5年間で1,319人減少し、平成23年には25,000人を割っています。

年齢階層別では、0歳から14歳及び15歳から64歳の年代が徐々に減少し、65歳以上の割合が増加しています。高齢化が進行していることがわかります。

年	0～14歳	15歳～64歳	65歳以上	総人口
平成21年	10.9%	57.5%	31.6%	25,549
平成22年	10.6%	56.9%	32.5%	25,224
平成23年	10.4%	56.6%	33.0%	24,881
平成24年	10.3%	55.9%	33.8%	24,515
平成25年	10.0%	54.7%	35.3%	24,230

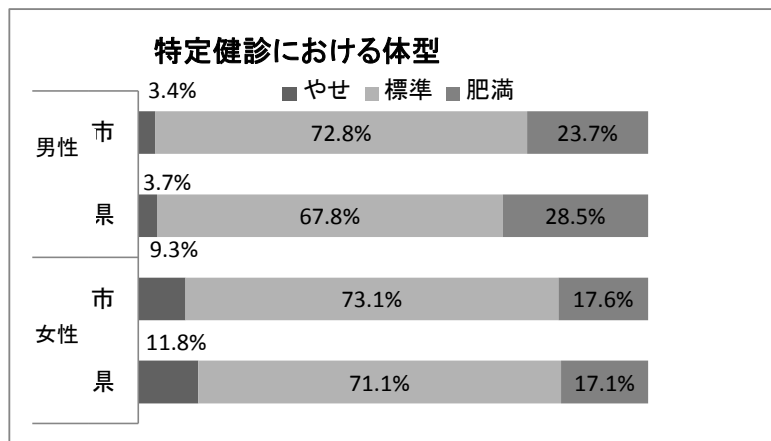
住民基本台帳 3月31日基準



【体型】

(2) 特定健診における体型

下田市の特定健診結果では、女性の肥満及びやせが県平均をやや上回っています。



<判定>

やせ: BMI 18.5未満

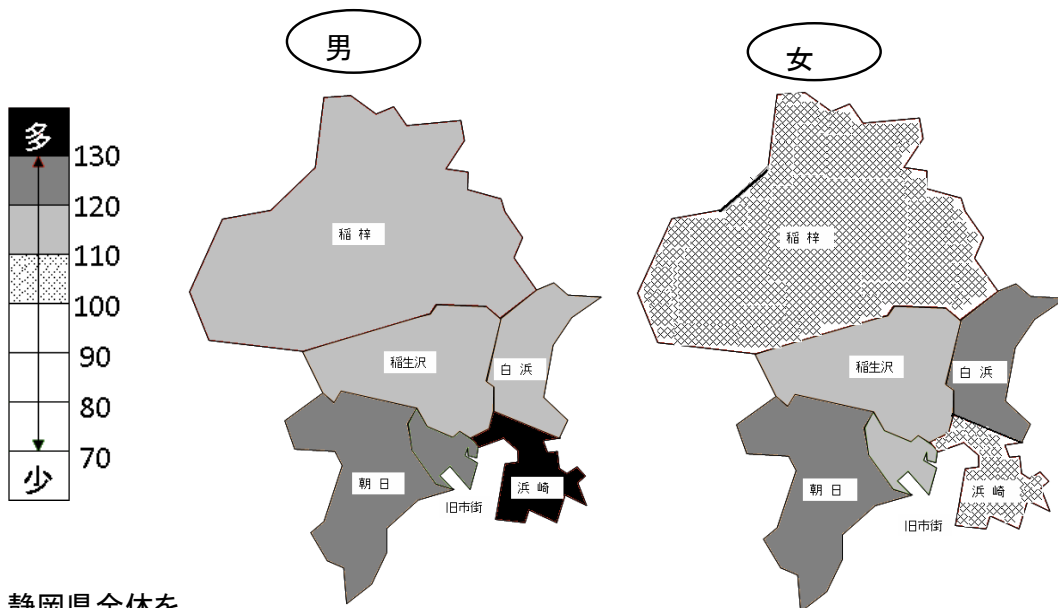
標準: BMI 18.5～24.9

肥満: BMI 25以上

平成24年度特定健診結果
 平成24年度静岡県特定健診結果
 平成24年度特定健診結果

(3) 地域別高血圧者標準化該当比

下田市の特定健診の結果では、高血圧者の標準化該当比が静岡県と比較して、全ての地域で高いです。下田市は高血圧の方が高い地域といえます。

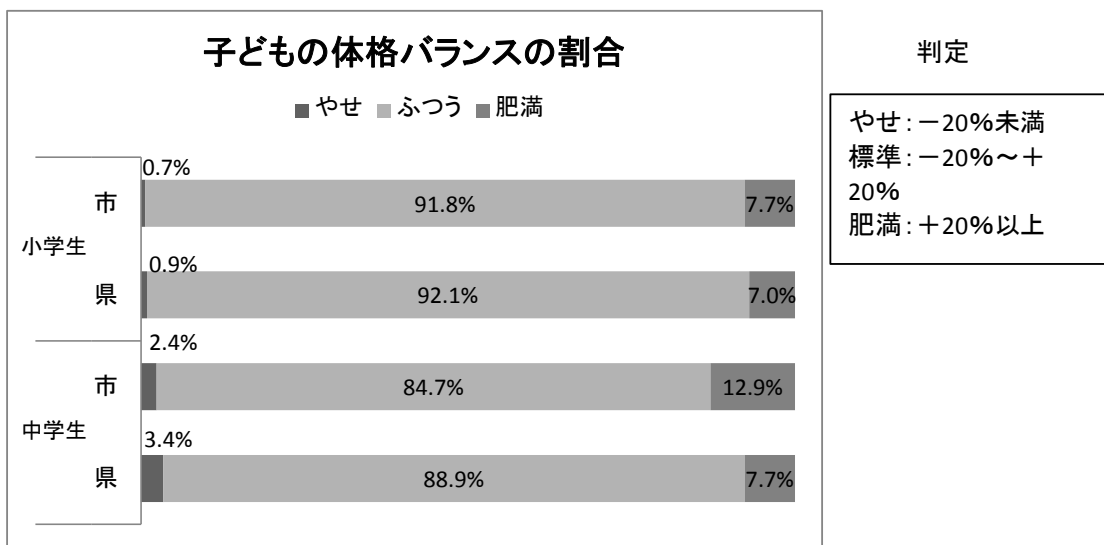


静岡県全体を
基準(100)とする
性別・年齢を調整した値

平成24年度特定健診結果(資料:静岡県総合健康センター)
注)国保以外の特定健診受診者も含めた値

(4) 子どもの体格バランスの割合

下田市の中学生の肥満は、静岡県の平均より、5.2ポイント高いです。



平成25年度学校保健統計調査結果(県教育委員会)

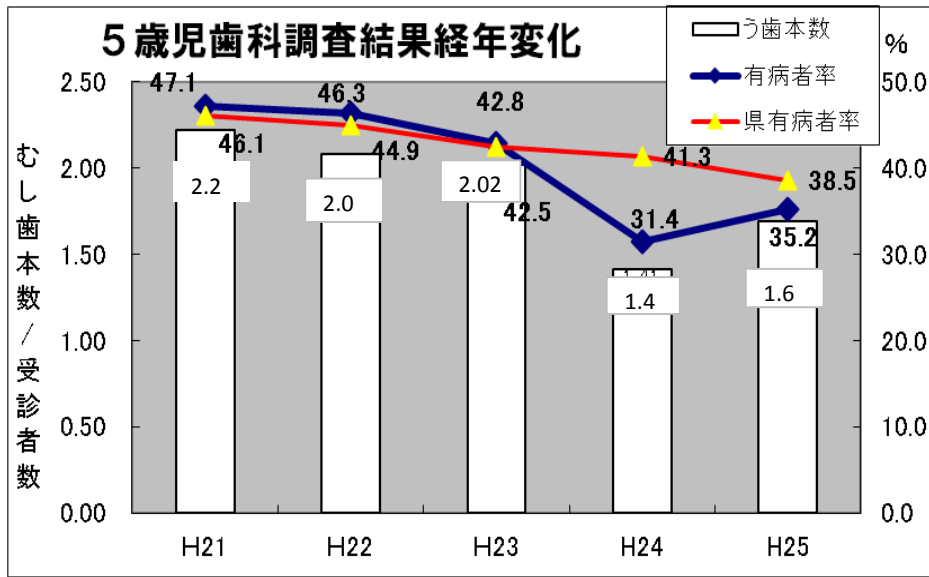
肥満度=[実測体重(kg)-標準体重(kg)/標準体重(kg)×100(%)]
標準体重は村田式

【歯の健康】

(5) 5歳児のむし歯有病者率

経年変化でみると、有病者率は年々減少しています。

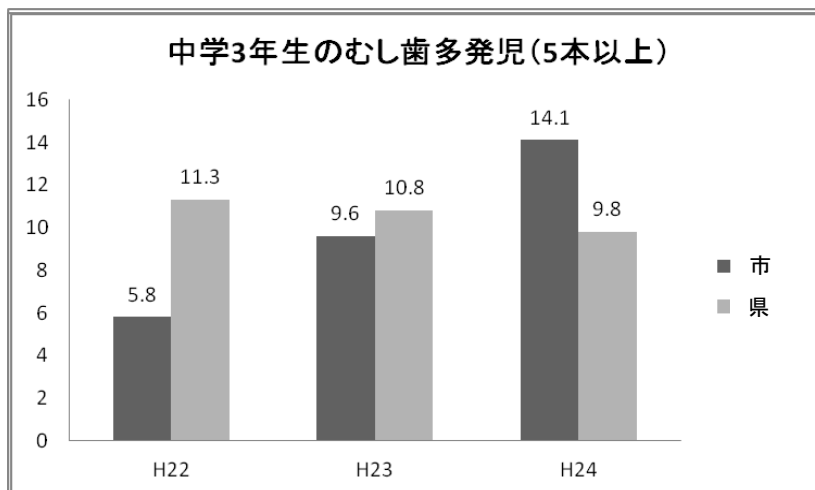
平成23年度までは、県平均を上回っていましたが近年では県平均を下回っています。



5歳児歯科調査(県)

(6) 市内の中学3年生のむし歯多発児率(%) (一人当たりむし歯5本以上)

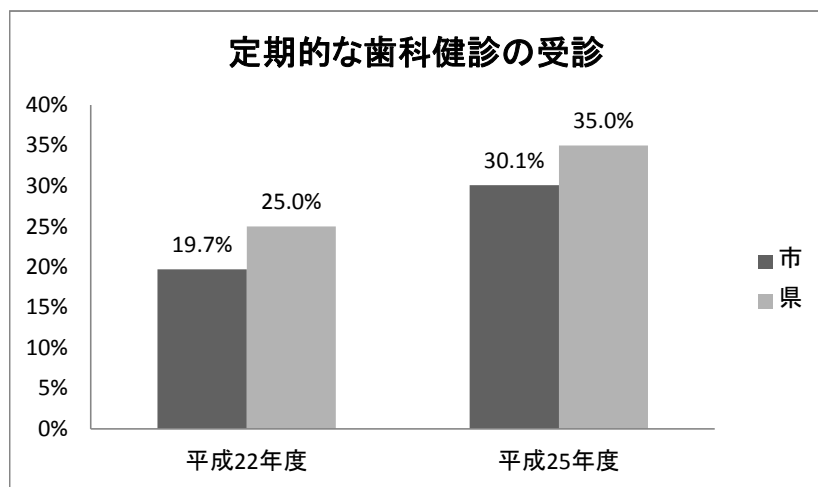
平成22年度から経年的に多発児の率は増加しております。平成24年度は県平均を4.3ポイント上回っています。



学校歯科保健調査(県歯科医師会)

(7) 定期的な歯科検診の受診

平成22年度から約10ポイント増加していますが、ともに県平均より低いです。

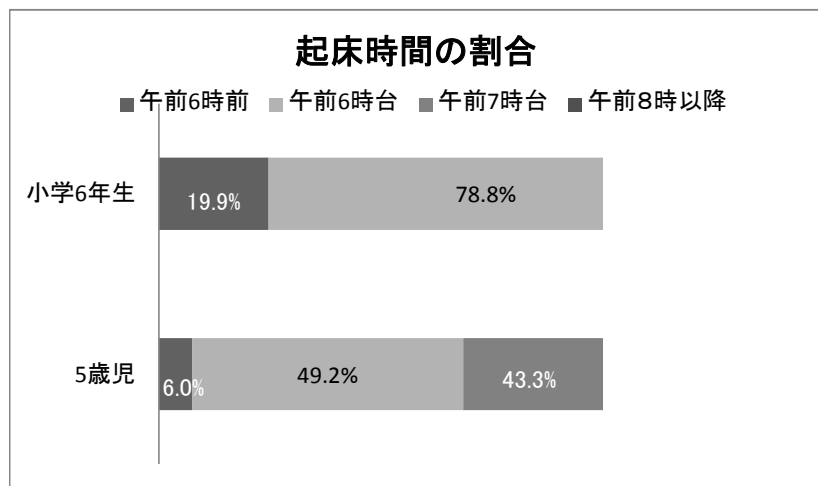


平成22年度賀茂地域の食に関する実態調査(県)
平成25年度健康に関する県民意識調査(県)

【生活リズムと欠食】

(8) 起床時間

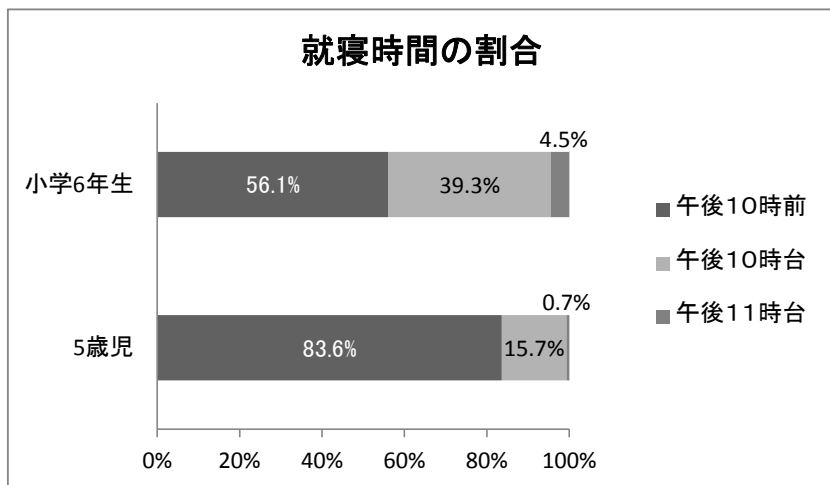
起床時間は5歳児、小学6年生ともに6時前と6時台が多く、8時以降に起床する割合はほとんどありません。



平成25年度食育推進計画に関するアンケート

(9) 就寝時間

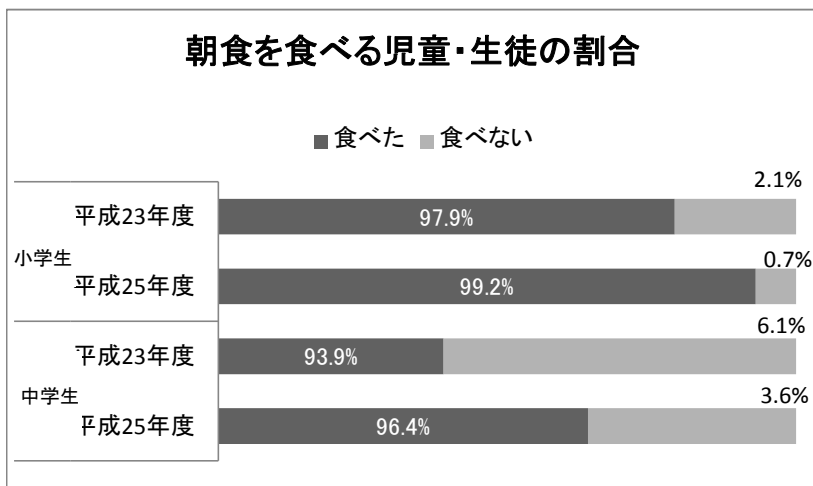
5歳児は10時前に就寝する割合が高いです。
小学6年生では、午後11時台に就寝する子の割合は5歳児に比べて3.8ポイント上昇しています。



平成25年度食育推進計画に関するアンケート

(10) 朝食を食べる児童・生徒の割合

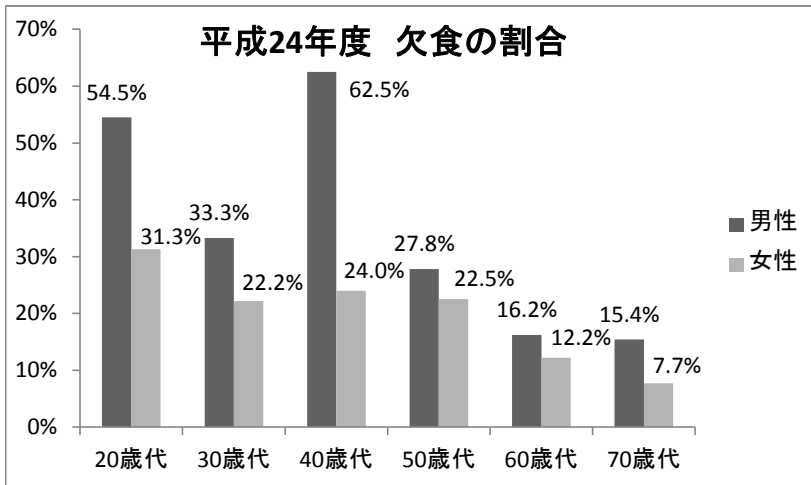
小学生では、朝食を食べる割合が100%に近づいています。中学生では朝食を食べる割合が2.5ポイント増加しています。



平成23年度、平成25年度 育つ下田の子(下田市学校保健活動部会)
平成25年度の小学生は参考として小学6年生のデータ

(11) 欠食の割合

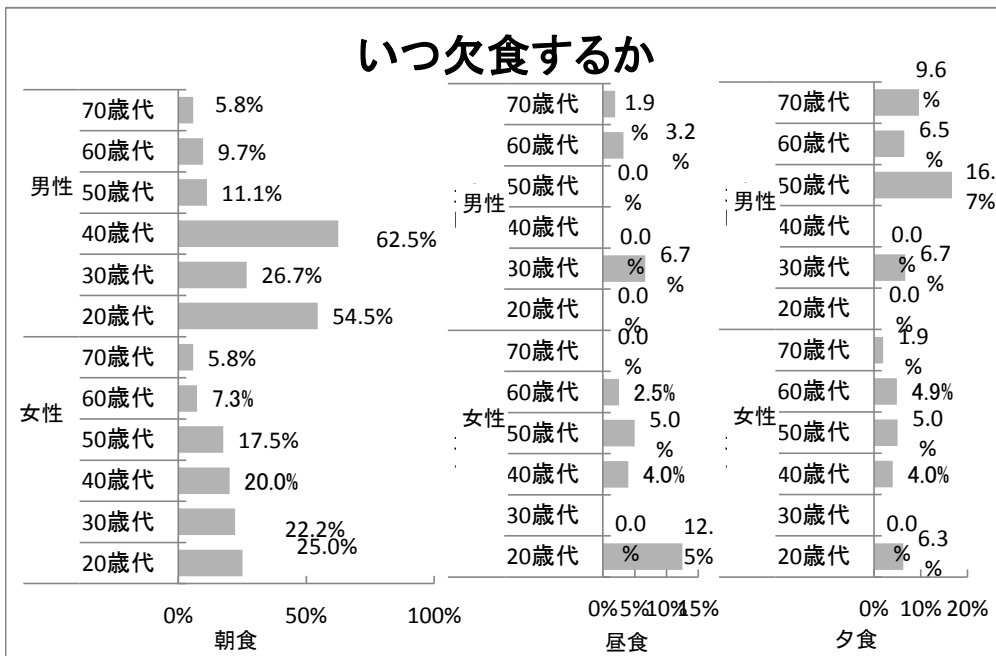
女性に比べると、男性の欠食の割合が高く、特に20歳男性と40歳代男性は欠食の割合が50%を超えています。



平成24年度 健康増進アンケート

(12) いつ欠食するか

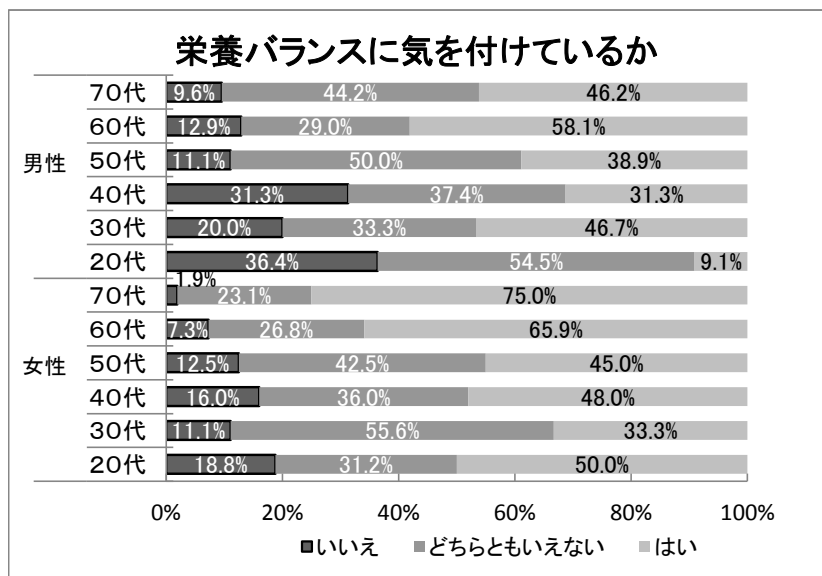
20歳代から40歳代の男女とも、朝食を欠食する傾向にあります。50歳代以降になると、男女ともに昼食を欠食する割合も増加しています。



平成24年度 健康増進アンケート

(13) 栄養バランスに気を付けている人の割合

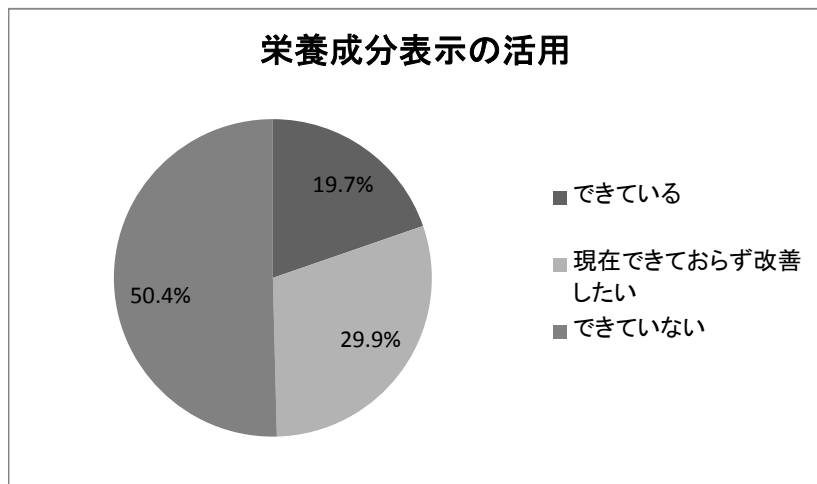
20歳代男性は気を付けている割合が最も低いです。どの年代も女性のほうが気を付けている割合は高いです。特に関心が高いのは60代、70代の女性です。



平成24年度 健康増進アンケート

(14) 栄養成分表示の活用

「できていない」と「現在できておらず改善したい」の割合を合わせると、8割程度います。

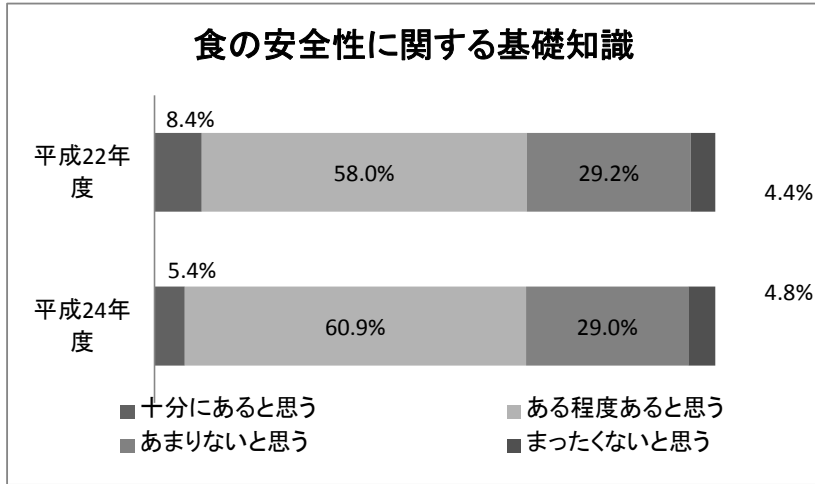


平成24年度 健康増進アンケート

【食の安全性】

(15) 食の安全性に関する基礎知識

十分あると思うの割合と、ある程度あると思うの割合を合計すると、7割近くに及んでいます。しかし、あまりないと思うとまったくないと思う割合も平成22年度からあまり変化が見られません。

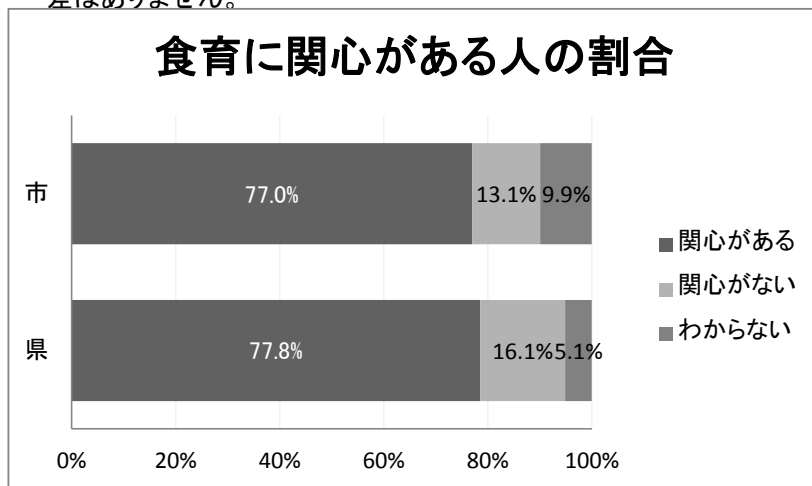


平成22年度賀茂地域の食に関する実態調査(県)
平成24年度 健康増進アンケート

【食への関心と理解】

(16) 食育に関心のある人の割合

関心がある人の割合は8割近くいます。県平均とも比較してもそれほど差はありません。



平成24年度健康に関する県民意識調査(県)
平成24年度健康増進アンケート

(17) 農業体験(見学)をする施設の割合

平成24年度には、全保育所及び幼稚園で農業や水産業及び調理体験を実施しています。

学校関係では、まだ食育体験を実施できていないところもあります。

	平成22年度		平成25年度	
	校数	割合	校数	割合
幼稚園	2	2/4園	4	4/4園
保育所	6	6/6園	7	7/7校
小学校			6	6/7校
中学校			3	3/4校

平成25年度食育推進計画に関するアンケート

(18) 水産業体験(見学)をする施設の割合

	平成22年度		平成25年度	
	校数	割合	校数	割合
幼稚園	4	4/4園	4	4/4園
保育所	6	6/6園	7	7/7園
小学校	5	5/7校	5	5/7校
中学校	2	2/4校	1	1/4校

平成25年度食育推進計画に関するアンケート

(19) 調理体験を実施している施設の割合

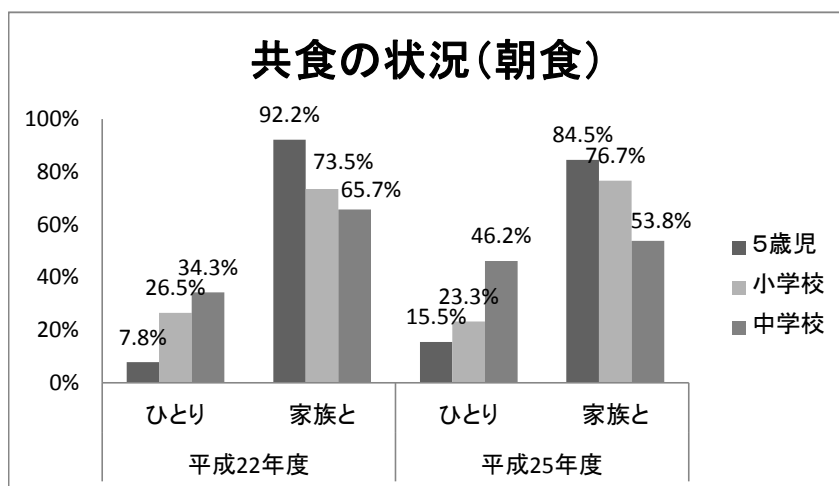
	平成22年度		平成25年度	
	校数	割合	校数	割合
幼稚園	2	2/4園	4	4/4園
保育所	6	6/6園	7	7/7校
小学校			6	6/7校
中学校			3	3/4校

平成25年度食育推進計画に関するアンケート

(20) 共食の状況(朝食)

経年変化では、5歳児で朝食を一人で食べる割合が7.7ポイント上昇し、中学生では11.9ポイント上昇しています。

年齢が上がるにつれ、一人で朝食を摂る割合が上昇しています。



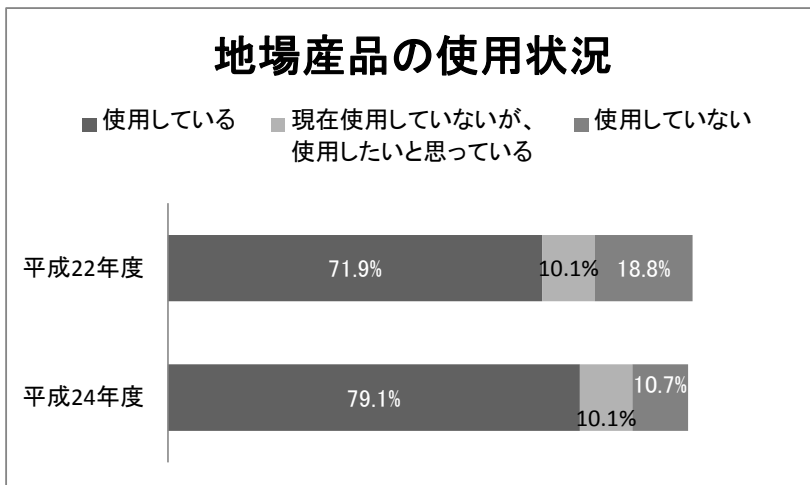
平成22年度賀茂地域の子供の食に関する実態調査(県)

平成25年度第3次静岡県食育推進計画:5歳児(県)

平成25年度育つ下田の子から小学校及び中学校を抜粋(下田市学校保健活動部会)

(21) 地場産品の使用状況

「使用している」は7.2ポイント上昇しています。

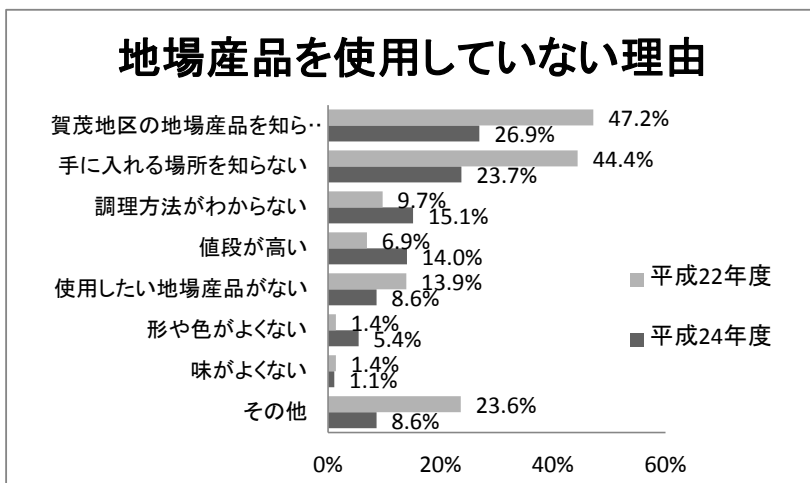


平成22年度健康増進アンケート
平成24年度健康増進アンケート

(22) 地場産品を使用していない理由

経年変化では「地場産品を知らない」割合と「手に入れる場所を知らない」が、共に20ポイント程度減少しています。

使用していない理由には「調理方法がわからない」・「値段が高い」・「形や色がよくない」などがあります。



平成22年賀茂地域の食に関する実態調査(県)
平成24年度健康増進アンケート